

Special Talk!

本音トーク



門脇磨美子さん(宮城県在住)

先生になりたての頃は楽器店の営業マンの方にお世話になりました。そのうち口コミで生徒が集まるようになりました。今までの経験から言えることは、なるべく外に出てみるということです。伴奏やボランティアを引き受けてみる、子供の行事やPTAに参加する、自分のコンサートを行うなど。自分自身の成長にもつながりますし、そこから口コミで紹介がくるようになります。

での経験から言えることは、なるべく外に出てみるということです。伴奏やボランティアを引き受けてみる、子供の行事やPTAに参加する、自分のコンサートを行うなど。自分自身の成長にもつながりますし、そこから口コミで紹介がくるようになります。



前田千恵子さん(福岡県在住)

生徒募集はしていませんが、生徒の紹介を通じて入会の問合せがあります。ですから「毎回のレッスンが生徒募集!」だと思い、誠心誠意接するようにしています。入会前に同年代のお子さんのレッスンを見学すると親御さんは安心されるようですね。

木下早苗さん(神奈川県在住)



節ごとにキャンペーンを組んでみています。例えば、春なら新入生を対象にお試しレッスンチケットを配布するなど、メインの行事を考えた上でそれに向かって目標を持てるような特集を試みるのがいとおもいます。広告宣伝を見た人からの電話による問合せの対応の仕方、体験レッスンの内容(カリキュラム)も考えておくとうれしいでしょう。指導力があつてその口コミで生徒募集は自分の指導内容を振り返るいい機会でもありです。

では、生徒募集を行っている先生は実際にどのような活動をされているのでしょうか。

木下早苗さん(神奈川県)の作成と情報誌への掲載を行っています。季節ごとにキャンペーンを組んでみています。例えば、春なら新入生を対象にお試しレッスンチケットを配布するなど、メインの行事を考えた上でそれに向かって目標を持てるような特集を試みるのがいとおもいます。広告宣伝を見た人からの電話による問合せの対応の仕方、体験レッスンの内容(カリキュラム)も考えておくとうれしいでしょう。指導力があつてその口コミで生徒募集は自分の指導内容を振り返るいい機会でもありです。

もうすぐ春、ピアノ教室でも新しい生徒さんを迎える季節です。そこで今回は生徒募集について、どのような活動をされているのか、先生方にお話を伺いました。



菅谷千寿実さん(東京都在住)

口コミで問合せがきますので、その対応に気をつけています。相手が何を知りたがっているか把握しながらお話するのがポイントで、こちらからはレッスン経験の有無、他の習い事、家族構成などをお聞きするようにしています。お話だけでなく発表会の写真や過去のプログラムをお見せしたりします。見学レッスンもしています。

「ピアノをまますます好きになつてくれたのは嬉しかった。」
「募集は特に何もしていない」という先生が多いことがわかりましたが、その他にも色々参考になるお話が。

菅谷さん(中学生の生徒の話ですが、学校の合唱コンクールで伴奏をした経験が本人の自信につながり、ピアノをまますます好きになつてくれたのは嬉しかったですね。生徒の活躍に接したお母様方から「あの教室の生徒はピアノを長く続けている」と口コミで宣伝が広がるケースもありました。

門脇さん(人とつまく接することのできない若者が問題になっていますが、こんな時代だからこそ、町のピアノの先生の在り方が大事だと思っています。挨拶から始まり、短いレッスン時間の中でも先生との会話が、演奏によって自分を表現する、そういう時間を大切にしていきたいですね。

指導力あつてこそその口コミ。生徒募集は指導内容充実のいいチャンス。

おすすめ書籍

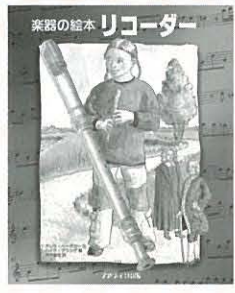
ちよく

拝見!

楽器の絵本 リコーダー

アンケバーチカー 文
ハイクランゲ 絵
穴戸里佳 訳

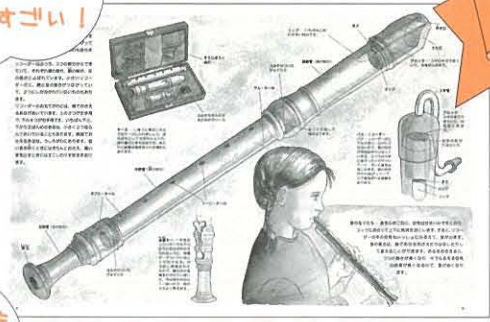
好評の「楽器の絵本 ピアノ」
「楽器の絵本 ヴァイオリン」に
続くシリーズ第3弾!



■A4変形上製 32頁
■税込定価1680円
(本体1600円)

リコーダーを習いたい人や知りたい人のために書かれたもので、ふんだんなイラストと詳しい説明を用い、リコーダーの入り口として興味深い絵本になっています。リコーダーの歴史、リコーダーの仲間、構造、吹くときの手や体の姿勢、作曲家や演奏家など、まだまだたくさんあります。リコーダーを習う生徒にも教える先生にもふさわしく、初心者にも上級者にも理解の助けとなることでしょう。

小さいけれどすごい!



昔のほりたちって知ってますか?

どんな木を
つかっているの?



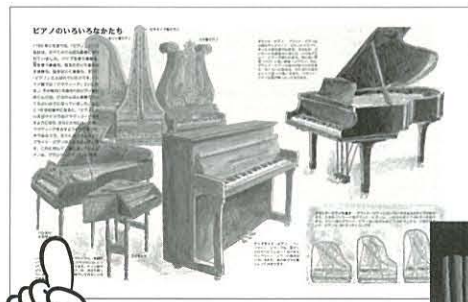
昔は象牙で作ったリコーダーもありました

Book for Music Fan		
音	フ	の
楽	ア	本
棚	ン	

楽器の絵本 ピアノ

クリストフハイムバーチカー 文
ハイクランゲ 絵
穴戸里佳 訳

■A4変形上製 32頁
■税込定価1680円
(本体1600円)



ココをチェック

普段私たちが弾いているグランド・ピアノやアップライト・ピアノの他にもいろいろな形をしたピアノが作られました。今ではなかなか見ることのできないピアノが登場し、まるで博物館のようです。

魅力的なイラストで
ピアノの知識をやさしく解説!

ふんだんに用いた細かいイラストと詳しい文章により、ピアノの歴史、ピアノの仲間の楽器、演奏時の手や姿勢、作曲家やピアニストなどをはじめとして、ピアノの構造や歴史についてわかりやすく解説しています。原書はドイツ・ペーレンライター社から出版されており信頼のおける内容で、レッスン室にぜひ置いておきたい一冊です。発表会の記念品に最適、担当の営業マンにお申込みください。

カワイ出版の楽譜・書籍のご注文は、お近くにショップがない場合、担当の営業マンにお申込みください。

ピアノ楽譜

小さな手と発表会のための
こどもピアノポップス 3 シーズン編
鈴木豊乃 編曲

大好評のこどもピアノポップスの登場です！
この曲集では、年の季節ごとにちりばめたPOPの人気曲に加え、クリスマスは特にジャンルを区切らず掲載しています。あの曲を弾きたがっているのに難しくて弾かせられない……この曲集はやさしいアレンジですからそんな悩みも無用です。幼稚園から小学生低学年向けに本当に簡単に弾けるよう連指からアレンジまで考えられています。



■菊倍判 56頁 税込定価1,600円(本体1,200円)・初級
カワラ(独唱)／桜／スハラんぼ／なつり雪／Best Friend／真夏の果実／Sausalil／ハルメキ／青いXロディー／村祭り／もみじ 他全27曲

こどものためのピアノ曲集 日本作曲家協議会 編
GIカットのライオン
アラビアのヴァイオリン



20周年を記念して開催された「こどもたちへ」コンサートのライオン楽譜2点です。これまでに出版された「こどもたちへ」収録の全800曲の中から、10人のピアニストが選んだ、シリーズを通して親しまれている38曲を収めたオムニバス版です。

■菊倍判 各52頁 各税込定価1,785円(本体1,700円)・初級～中級

書籍

混声合唱組曲 **いまぼくに**

谷川俊太郎 作詩
信長真富 作曲

松下中央合唱団委嘱作品。谷川氏の最新詩集「夜のミッキーマウス」を中心に比較的新しい詩集から5篇を選んであります。1曲目の冒頭、無声部の絶望的な書きから曲が始まり、その先にある祈りや希望が曲をおつとに現れてきます。そして終曲のアカペラで作曲者の心この答えが与えられます。「よげ」2道「他全5曲」

■A4変形判 72頁 税込定価1,680円(本体1,600円)・中級

混声合唱曲集 **ひたすらに・白秋**
北原白秋 作詩
池辺晋一郎 編曲

第19回国民文化祭ふくおか合唱の祭典「委嘱作品」2004年11月福岡で初演。福岡出身の詩人北原白秋の詩に先人が曲をつけた名曲を合唱にアレンジしたものです。「この道」「南の風の(児童合唱)」「待ちぼうけ」「ちんちん千鳥」「あわて床屋(児童合唱)」「ちやきり節(男声合唱)」「からたちの花」他全10曲。

■A4変形判 80頁 税込定価1,890円(本体1,800円)・中級

同声(女声)のための合唱 **ファンタジー**
金子みすゞ 作詩
鈴木憲夫 作曲

既刊の「みすゞのみち」に続く第2弾。下関少年少女合唱隊委嘱、2004年11月に初演。今回は高音域をおさえたり、短い素朴な曲ながらも変化に富んだ構成でまとめるなど、前作とはちよつと違う「みすゞ」の世界を表現してみました。「星とたんぼは」「はすこにわこ」「金のおすきな壬子ま」「おもちゃのない子が」他全9曲。

■A5変形判 48頁 税込定価1,365円(本体1,300円)・初級

女声合唱とピアノのための **2章**
無声慟哭
宮沢賢治 作詩
新美徳英 作曲

TCF女声合唱団の委嘱作品。2004年6月の辻正行先生追悼コンサートで作曲者の指揮により全曲初演され、故人に捧げられました。「無声慟哭」より、「針」より「2章から成り、互いにそれぞれの曲の旋律が引用される「いれ」の構成になっている。

■A4変形判 40頁 税込定価1,260円(本体1,200円)・中級～上級

オラトリオの起源と歴史
リーノ・ピヤンキ 著
松本康子 訳
カリッシミ、ストラデッラ、バスカルラッティ 金澤正剛 監修

これまでに出版した「バレストリーナ」「ヴェルティ」というイタリア音楽の「巨人」の間で、これまであまり光の当たらなかった、16・17世紀イタリアのオラトリオとその偉大な作曲家3人及びその作品について詳しく述べたものです。

■A5判 368頁 税込定価4,200円(本体4,000円)

◆生徒募集を成功させるヒント◆

自分で自分の教室を宣伝するというのはやりにくいかもしれませんが、募集は教室の内容の充実をはかり、内外にアピールすることであり、これからを見直すことが大事なことです。

ポイントとしては効果的なチラシが作れるか考えてみましょう。

まず教室の現状を調べ、宣伝のヒントになる特色をつかんできたい。「プロフィール」「出張レッスンも可能」「発表会がある」「ランドピアノでレッスン」「二人の方も歓迎」などのアピールポイントのほか、「地図」が載っていれば「行ってみたいかな」と思いやすくなるものです。チラシを見た人からの電話応対や、体験レッスンの指導方法も考えておきましょう。チラシは教室の「顔」でもあるので、魅力的で丁寧なチラシ作りをしたいですね。

木下早苗(「もっとよくなる! あなたの教室」より)



木下早苗 著
四六判/160頁
税込定価1,260円(本体1,200円)



先生は世界の窓

連弾することを含めて、レッスンの時間が、子供たちにとって、世界との出会いの一刻になればと願っています。子供たちは、毎日育っています。性格を表す「ひととなり」という言葉は文字通り「人と成る」ことからきているのですが、いま家庭や学校や社会が、人として育つ手掛かりを、子供たちに豊かに与えているとは言えないでしょう。たとえ30分のレッスンでも、音楽を仲立ちとする先生との人間的触れ合

いが説明抜きに子供たちのなかに「美しいものを求め、営む心」を養うことにつながる、私は信じています。ドストエフスキーの小説「カラマーゾフの兄弟」のなかにも「子供のとき、たった一つのいい思い出があれば、それが一生を生きてゆく勇気の泉になる」という言葉があります。

三善 晃
(Miyoshi Net発報6号)

Miyoshi Net

会員
募集中

『Miyoshi Net』

日本を代表する作曲家・三善晃氏が、20年の歳月をかけて書き上げた『Miyoshi ピアノ・メソッド』。発刊にあたり、現場で指導に携わるピアノ教師の声が反映され、その声の提供者となった先生方が運営委員となり、2000年4月に発足したのが「Miyoshi Net」です。

「Miyoshi Net」では、三善晃氏と共にピアノ教育、音楽教育を考え研究していく場を設けています。年4回の会報発行、三善晃氏や運営委員による研究会や公開レッスンを開催。2005年も各地で講座、勉強会、演奏会を開催します。2005年12月には「第2回Miyoshi Netピアノコンクール」を予定しています。

Miyoshi Netでは随時会員を募集しております。

【お申込み、お問い合わせ先】

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-4
Miyoshi Net事務局(カワイ出版内)
Tel.03-3374-7595 Fax.03-3320-8472